



光回線使い放題

もっと安くなるかも...?

その光回線、高くない？

フレッツ光なら、月額料金が
なんと2,420円税込から
フレッツ光



沖縄タイムス+プラス > 沖縄タイムス+プラス ニュース > 社会・暮らし > 「不安に惑わされず心にワクチンを」病歴明かし教訓に向き合い続ける男性 ハンセン病国賠訴訟20年

沖縄タイムス+プラス ニュース >

ツイート 0

「不安に惑わされず心にワクチンを」病歴明かし教訓に向き合い続ける男性 ハンセン病国賠訴訟20年

2021年5月11日 10:34

ハンセン病違憲国家賠償訴訟で、国による患者の強制隔離政策を断罪した熊本地裁判決から11日で20年を迎えた。「私の中ではとくに判決を下しているという強い思いがあった」。歴史的な司法判断をそう振り返るのは、沖縄出身のハンセン病回復者で作家の伊波敏男さん（78）だ。自らの病歴を公にし、国策の間違いに声を上げ始めて半世紀超。2019年秋に20年近く暮らした長野から居を移した故郷の沖縄で、人権や平和の問題について発信し続ける決意を新たにしている。（学芸部・新垣綾子）

手指が大きく変形し、痛みの感覚がない。それがハンセン病による障害と分かったのは、14歳の時だ。本当はもっと前に症状が出ていたが、小児神経炎と誤診されていたという。「なぜ、ここまで放置したのか。沖縄の医療はどうなっているんだ」。本土から派遣された専門医が机を叩き、声を荒らげた姿を覚えている。



フィリピン大医学部レイテ分校の関係者と写真に納まる伊波さん（前右から2人目）。学生への奨学金として100万円を贈呈した＝2017年7月（クリオン虹の基金ホームページより）



なんと・・・！？

廃車

が売れるとは！

15年以上前の車も、
15万キロ走った車も、



愛車の価格をチェック ▶



きょうのお天気

29℃ / --℃
20%

沖縄タイムスのイチオシ



タイムスふれあい事業
地域の福祉を応援する「タイムスふれあい事業」。申請方法などはこちらをご確認ください。



沖縄タイムス会社案内デジタ
最新の会社情報や仕事内容を紹介。社員や若手社員から就活生へのメッセージ。

中国が台湾を欲しがるとの本当の理由 - 日本人が気づけない台湾の価値

観光スポット…日本人に優しい…それどころではない台湾の本当の価値。 in.fujii-worldforecast.jp

開く

そして最大の理解者で、1男1女を授かった前妻とは8年で離婚。決定打となったのは、保育園の入所を拒否されるなど攻撃の矛先が子どもたちに向いたことだと思っている。苦しみと葛藤の中で、夫の病気を伏せ、静かに暮らしたいと願った妻との溝は埋まらなかった。

「家族を守れなかった私自身の闘いに正当性はあったのか」。後から振り返れば、激しい悔恨の念にかられるが、偏見・差別に立ち向かい社会を変えると誓いを立て、顔を上げて歩んできた。職場でも、幹部の支えに励まされながら仲間の理解を引き出し、最終的には運営する法人の要職を務めた。

だからこそ、国賠訴訟の原告には加わらなかったという。「病気をカミングアウトした時点で国に対して私なりの判決を出したという思いがあり、原告の皆さんの心に寄り添いながら、私は私の方法で啓発活動を頑張っていきたいと考えた」

現在の妻の古里である長野では19年暮らし、中学校や高校を中心に人権に関する講演を約300回重ねた。原告の全面勝訴によって定められた補償法が、原告にとどまらず療養所に入所経験のある回復者らを対象とすると、受け取った補償金を元に03年、「伊波基金」を創設した。

使い道はフィリピン大医学部レイテ分校で、[地域医療](#)を志す学生への奨学金の給付だ。貧しさから生活費も賄えない学生の窮状を耳にし、脆弱（ぜいじゃく）な医療体制にあった日本復帰前の沖縄で病気の発見が遅れ、重症化した自らの体験がよみがえった。「地域で、質の高い医療を受けられる環境づくりを応援したい」と動いた。

同基金はその後「クリオン虹の基金」の名でNPO法人化され、これまでに助産師5人、看護師8人、医師1人を奨学生としてサポートしたという。

■二つの節目に

今年は熊本地裁判決からの節目であると同時に、患者の強制隔離を定めた「らい予防法」が廃止されて25年となる。「しかしこの間、社会はどう変わったか」というと、問題の解消からはほど遠い」

元患者家族が国を相手にした訴訟で勝ち、19年には家族への補償法も施行されたが、申請は伸び悩む。一度「社会」に出た回復者の一定数の人が高齢になって支援が必要になり、再び療養所に戻ってくる。その背景には、根強い差別を恐れて口をつぐむ本人や家族の苦悩がうかがえる。

これからは可能な限り沖縄の若者たちに向き合い、直接言葉を届けていく。そう描きながら、2年前に[浦添市](#)内に移住して間もなく直面したのが新型コロナウイルスの感染拡大だ。収束の気配なく自身も外出自粛が続く中、感染者に注がれる偏見の目や、私権制限が可能な法整備への懸念は膨らむ。

「恐怖や不安に惑わされず、正しい情報を基に社会の分断や排除に対抗する心のワクチンが大切。国民の自由や権利をやすやすと国家権力に明け渡してはいけない」。ハンセン病の歴史から学んだ教訓を、今こそ生かそうと呼び掛ける。



アクセスランキング

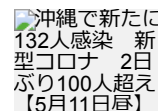
ニュース 解説・コラム

24時間

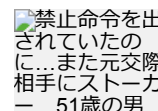
1週間



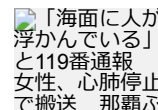
国際通りの入り口の土産品店「おきなわ屋」が閉店 コロナ禍で一等地の家賃が支払えず
2021年5月11日 08:16



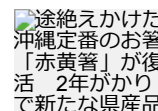
沖縄で新たに132人感染 新型コロナウイルス 2日ぶり100人超え【5月11日昼】
2021年5月11日 15:32



禁止命令を出されていたのに...また元交際相手にストーカー 51歳の男を逮捕
2021年5月10日 19:32



「海面に人が浮かんでいる」と119番通報 女性、心肺停止で搬送 那覇ふ頭
2021年5月12日 07:07



途絶えかけた沖縄定番のお箸「赤黄箸」が復活 2年がかりで新たな県産品を手作り
2021年5月11日 08:26



中国が台湾を欲しがるとの理由

アクセスランキング一覧



国際インプラント研究会
インフラント埋入治療
ならお任せ下さい
自由診療 CT撮影無料
安心の10年保証
インフラント埋入手術 **19万円**
安心の10年保証・CT撮影無料
あくね歯科クリニック

注目コンテンツ

